

目次

序文..... 1

第 1 部

第 1 章 村上春樹文学の魅力—台湾の視点から—..... 9

第 2 章 台湾初 MOOCs「非常村上春樹」を实践例として 35

第 3 章 村上春樹文学のメディアムとしての「うなぎ」..... 49

第 4 章 村上春樹『風の歌を聴け』における
「風」の形象の一考察..... 69

第 5 章 『騎士団長殺し』における絵画への「共鳴」..... 97
—小田原滞在中に創作した 4 枚の絵を中心に—

第 6 章 『騎士団長殺し』における「移動」..... 117
—国境を越えたことの差異性—

第2部

第1章 通過儀礼として見た村上『神の子どもたちは.....』 135 みな踊る』論—トラウマと向き合う物語の装置—	135
第2章 生に寄り添う村上春樹の「モラル」(倫理)の体現... 159 —震災・ポスト3・11を契機に探ったトラウマの真意—	159
第3章 創作の「秩序」から村上春樹の真意への究明..... 183 —二つの震災と原発に関する発言を中心に—	183
第4章 「女のいない男」の延長線として読む 201..... 201 『騎士団長殺し』の「魅惑」 —東日本大震災への思いを馳せて—	201
結論.....	217
テキスト (年代順).....	230
参考文献 (年代順).....	232
初出一覧.....	243
著者紹介.....	247